

平成 30 年度 福祉保健活動拠点事業計画書

施設名

金沢区福祉保健活動拠点

事業計画

1 場の提供について

(1) 場の提供を通じた関係性の構築・利用団体支援

- ・利用調整会議（2回/年）や拠点貸室抽選会（1回/月）、ロッカー・メールボックス抽選会（1回/年）等の機会を通して、利用団体と顔の見える関係を築き、相談や意見等があった際には、ニーズの抽出に努め、各種情報提供をはじめ、課題解決に繋がる支援を行います。
- ・利用調整会議等を通して、意見の反映、利用団体同士の交流を深め、利用団体が気持ち良く利用できる環境づくりを進め、良好な関係性の構築へ繋がります。

(2) 拠点の利用促進に関すること

- ・拠点利用率を上げるため、区社協広報紙（3回/年）、ホームページ、ボランティアセンター通信（2回/年）、及び拠点貸室抽選会（1回/月）等の機会や、いきいきセンターまつり等のイベント、また、拠点利用団体活動紹介（パネル等）を通して、新規利用団体の開拓・登録の促進に努めます。
- ・障がい者や高齢者等が制作した絵画等を出展するギャラリーとして、また、共同募金運動等関連事業の広報スペースとして、1階交流ラウンジを活用していきます。
- ・こども食堂の開催、及び場の提供を通じて、子育て世代や子育て支援団体への支援にも繋がります。
- ・複合福祉施設の利点を活かし、各施設が相互に連携し、区民向けのイベントや講座等を企画展開します。
- ・拠点貸室において、窓口にて代替部屋を案内する等、全室の稼働率の向上に努めます。

【平日】	目標（利用件数）			目標（利用率）		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
団体交流室	195 件	195 件	147 件	80%	80%	60%
多目的研修室	244 件	244 件	195 件	100%	100%	80%
点字製作室	122 件	122 件	122 件	50%	50%	50%
録音室	122 件	122 件	122 件	50%	50%	50%
対面朗読室	195 件	195 件	147 件	80%	80%	60%

【土日祝】	目標（利用件数）			目標（利用率）		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
団体交流室	92 件	92 件	69 件	80%	80%	60%
多目的研修室	115 件	115 件	92 件	100%	100%	80%
点字製作室	58 件	58 件	58 件	50%	50%	50%
録音室	58 件	58 件	58 件	50%	50%	50%
対面朗読室	92 件	92 件	69 件	80%	80%	60%

(3) 拠点のサービスの向上に関すること

- ・職員会議（1回/月）や拠点ミーティング（2回/年）や、朝礼・終礼（各1回/日）を実施することで、問題点や引継ぎ、ヒヤリハット等、拠点運営に関する職員間の情報共有を図るとともに、利用団体へのサービス提供に差異のないよう努めます。
- ・常設のご意見箱や窓口満足度調査（1回/年：11月1ヶ月間）、また、利用調整会議等のご意見・ご要望等に基づき、適切且つ迅速な対応に努め、拠点の環境運営を整備します。
- ・危険物や緊急時を日頃から想定し、職員による見回り（2回/日）や災害時想定館内合同防災訓練（2回/年）を実施し、拠点の環境整備を行います。
- ・ホームページのウェブアクセシビリティにおける適合基準に対応します。

(4) 利用調整会議等の開催

- ・利用調整会議（2回/年）において、利用団体の意見交換や団体間の交流、利用団体が必要としている情報提供及び関連講座等を開催します。
- ・利用調整会議、及びロッカー・メールボックス抽選会への参加促進のために開催の周知に努めます。
- ・開催内容について全利用団体へ情報を届けます。

開催実績	2回/年
参加団体数	計 90 団体

2 ボランティア業務

(1) ボランティアに関する情報収集、分析、計画立案

- ・ボランティアセンターに寄せられる情報だけではなく、送迎サービス・移動情報センター等ボランティアが関連する事業の職員と連携して事業を実施します。また、本会の会議や連絡会、事業、地域を通じたネットワークを活用することにより情報を収集し、区内の幅広いニーズ把握に努めます。
- ・ボランティアニーズを分析し、生活援助ボランティアや障害者支援ボランティアの育成に努めます。
- ・高齢社会（地域包括ケアシステム）に対応した区域を対象とした社会資源の開発を

行います。

- ・ボランティアセンター運営委員会を年3回開催します。運営委員会ではニーズの分析結果報告を行うとともに、次年度ボランティア関連事業の計画に活かします。

(2) ボランティアに関する広報、情報提供

- ・区社協が実施している各種相談対応時に、ボランティアが担える支援の情報提供を積極的に行います。
- ・ボランティアセンター通信をC P等の公共施設で配架します。
- ・区社協広報紙へボランティア情報を掲載します。
- ・講座情報を区社協ホームページで随時提供します。
- ・昨年度に引き続き、拠点内にボランティア募集コーナーにてボランティア情報を提供します。
- ・生きがい就労支援スポットや晴嵐かなざわ（老人福祉センター）と連携し、シニア世代へボランティア情報を提供します。

(3) ボランティアに関する相談、紹介

- ・ボランティア活動に関する各種相談・情報提供及びコーディネートを適切に行います。また、研修会に積極的に参加し、コーディネーターのスキルアップに努めます。
- ・必要に応じてC Pや区役所・地区社協・民児協等の関係機関へと繋ぎ、課題解決を図ります。また、幅広いコーディネート・情報提供・課題提起を行うことで、地域での課題解決力が上がるような支援を進めます。
- ・昨年度に引き続き、ボランティア・市民活動分科会（36団体で構成）と連携したボランティア調整を行い、ボランティア活動の受け皿を開拓します。

登録人数	個人	新規	50
		累計	558
	団体	新規	2
		累計	56
相談件数			250
依頼件数			250
紹介人数			290
調整数			620

(4) ボランティアに関する育成・支援・講座開催

- ・区内ボランティア全体の登録（活動）者数の増加と、分析結果から必要とされているボランティア活動者の育成を進めます。（入門講座の開催等。）
- ・ボランティア登録者を対象としたボランティア入門講座（6回/年）を開催します。
- ・生きがい就労支援スポットと共催で、ボランティア入門セミナーを実施します。
- ・育成したボランティアの悩みや課題の解決を目的とした講座を開催します。（傾聴講座等）
- ・分析結果から必要と判断されたボランティアを育成します。ガイドボランティア養成研修（1回/年）、精神保健福祉ボランティア講座（1回/年）等。
- ・音声訳ボランティア入門講座や誘導ボランティア入門講座等の開催を通し、活動団体を支援します。
- ・若い世代に対するボランティアを育成します。
- ・区内地域ケアプラザとの協働によるサマーフレンドの実施、横浜市立大学・関東学院大学・区内地域ケアプラザ共催ボランティア講座を開催します。

3 他の関連組織とのネットワーク

(1) 関連組織及び地域との連携

- ・「誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会をみんなでつくりだす」という社協の活動理念に基づき、地域の活動団体・組織、ボランティア、民生委員児童委員、NPO、民間企業、区内学校、社会福祉法人等が重層的に連携・協働した取組を進めます。
- ・区社協の部会・分科会、及び各種連絡会等の開催を通じて、ネットワーク構築と地域課題の解決に努めます。
- ・区社協のボランティア・市民活動分科会との連携による子どもの貧困に関する地域課題を検討します。
- ・地域拠点でのボランティア育成支援等、地域連携事業を行います。

(2) 地域の福祉保健課題への理解と協力

- ・利用調整会議や、区社協部会・分科会等を通じて、地域の福祉保健課題の把握と理解、及びその解決と協力を得るため、福祉保健の啓発とその課題解決を図ります。
- ・地域福祉保健計画の協働事務局として、また、地域支援チームの一員として、区役所・地域ケアプラザとともに、区域計画・地区別計画の推進に協力します。
- ・的確な地域支援のため、地区毎のアセスメントシートを随時更新し、地域課題を分析します。

4 その他

(1) 職員体制、育成

- ・朝礼・終礼（各1回/日）や職員会議（1回/月）の実施と、拠点ミーティング（2回/年）やボランティアセンターミーティング（1回/月）を実施することで、拠点内の業務の見直しや確認、他区のヒヤリハット・事故事例等を共有し、職員に意識向上による安全性の高い拠点運営に努めます。
- ・回覧システムや業務・窓口日誌を活用し、日常の情報提供・報告事項や、引継ぎ事項を漏れなく、滞りなく行っています。
- ・コンプライアンスや個人情報に関する研修を実施し、職員の認識の強化に努めるとともに、相談業務に関するスキルアップを目的に、研修会及び連絡会に参加します。
- ・人材の育成に関しては、常勤職員は人材育成計画、非常勤職員は業務評価シートを基に実施し、必要に応じて、OJT・OffJTの機会を設け、スキルアップを図ります。

5 施設の適正な管理・運営について

ア 施設の維持管理について

<開館時間>

平日・土曜 9:00 ～ 21:00

日曜・祝日 9:00 ～ 17:00

※年間347日開館（1月1日～3日及び12月28日～31日、毎月最終土曜日（年間12日）を除く。）

<建物・設備の保守点検、小破修繕>

- ・駐車場ゲート保守管理業務：3回／年
- ・真空式温水器保守点検業務：2回／年
- ・エレベーター保守点検業務：1回／月
- ・自動ドア保守点検業務：4回／年
- ・自家用電気工作物点検業務：月次点検、年次点検
- ・空調用自動制御装置保守点検業務：2回・6回／年
- ・冷温水発生器及び空調機器保守点検業務：1回・2回・6回／年
- ・消防用設備点検業務：2回／年
- ・端末設備保守点検業務：6回／年
- ・設備総合巡視点検業務：4回／年

<清掃業務について>

- ・日常清掃：毎日（開館日）
- ・定期清掃：指定日

<警備業務について>

- ・機械警備（開館日夜間・休館日、緊急時・異常事態発生時）

<衛生管理業務について>

- ・空調環境測定業務：4回／年
- ・配水管洗浄業務：1回／年
- ・受水槽清掃業務・飲料水水質検査業務：1回／年
- ・簡易専用水道検査：1回／年
- ・空調機（エアコン）フィルター清掃業務：4回／年
- ・環境衛生管理業務（建築物環境衛生管理技術者業務）：4回／年
- ・害虫駆除業務：6回／年（7・8・9月、12・1・2月）

<植栽保守業務について>

2回／年

イ 苦情受付体制について

<苦情受付体制・方法>

金沢区社協「苦情解決規則」並びに「苦情解決規則に基づく苦情相談対応マニュアル」沿って、苦情受付の体制を整えています。

また、ご意見箱設置要綱に基づき、苦情だけでなく、利用者からの意見・要望等を受け付けている。

<苦情への対応手順>

受付担当者から解決責任者（事務局長）という流れで苦情の解決に当たります。また、横浜市社協の苦情解決調整委員会に委託し、上記の仕組みで対応できなかった場合の対応や苦情解決に関わる助言をいただき、円滑な解決・サービスの改善に努めます。なお、この苦情解決委員会は、法律・福祉・人権の各分野の方から構成されています。

ご意見箱の意見等に関しては、ご意見等及び対応結果を拠点内掲示版、及びホームページに掲載します。

<苦情解決の仕組みに対する利用者への周知方法>

拠点内の見やすい箇所（掲示板等）に掲示する等、市民への周知を図ります。

ウ 緊急時（災害・事件・事故等）の体制及び対応について

<連絡体制、マニュアルの整備状況等>

浸水想定区域に指定されているいきいきセンターにおいて「避難確保計画」を策定しています。あらゆる災害において、緊急時に迅速且つ適切な対応・連絡体制作りを行うとともに、警報発令等、災害発生のおそれがある場合に備え、予め参集・待機の体制を整えています。

<職員の役割分担>

火災等の場合には、予め定められている自衛消防隊組織図に基づき、役割分担を行い、対応します。

大規模災害発災時には、「災害時における区ボランティア活動拠点開設の協力に関する協定」に基づき、速やかに「区災害ボランティアセンター」が設置できるよう協力するとともに、区災害ボランティアネットワーク等と連携し、ボランティア調整等の活動支援を行います。また、区社協業務計画（BCP）に基づく災害時の職員配置を含めた体制の整備を継続して進めます。

<地域や関係機関との連携体制>

いきいきセンター連絡会議や、行政との打合せ等を通じて、関係機関との連携を図っています。

また、指定管理者たる金沢区社協が、災害ボランティアネットワークの事務局を担っていることから、これらとの連携を活かして、万が一の災害に備えています。

拠点においては、利用者の安全確保のため、利用毎に「いきいきセンター避難経路図」を示し、日頃から利用者への認知も行っていきます。

<事故防止への取組>

日常業務の中でヒヤリ・ハット事例を共有するとともに、他区の福祉保健活動拠点等で発生した事故事例を収集し事故原因の分析を行います。また、全職員による学習会を定期的開催することで日頃より事故防止に努めていきます。

いきいきセンター全館合同防災訓練も年2回実施し、当日利用者参加の下、火災・地震・津波等を想定し、発災時に備えている。

エ 個人情報保護の体制及び取組について

＜マニュアルの整備状況＞

「横浜市個人情報保護に関する条例」並びに「金沢区社協の保有する個人情報の保護に関する規程」、及び「金沢区社協の保有する特定個人情報取扱要綱」に基づき、個人情報の保護に努めます。

＜職員への周知＞

横浜市社協が実施する研修に参加するとともに、職員会議等を通じて、意識啓発を行うことで、個人情報に関する理解の定着を図ります。

＜日常の取組＞

窓口には、「個人情報取扱業務概要説明書」を設置して、常時閲覧可能とします。

また、窓口におけるプライバシー保護のため、個人に関わる相談は相談室にて、また、電話における個人の相談についても周囲を配慮しながら行っています。

オ 環境への配慮及び取組について

＜ゴミ発生抑制に関する取組＞

＜再利用・再使用・リサイクルに関する取組＞

ヨコハマ3Rプランに基づき、環境に配慮した行動を心がけるとともに、利用者にも環境への配慮を呼びかけます。

- ・廃棄物については、ごみゼロ推進員を選出し、資源の分別を徹底します。
- ・文書・備品廃棄については定めに従い処分します。
- ・拠点利用者には、ゴミの持ち帰りを呼びかけ、館内のゴミ箱を撤廃します。

＜温室効果ガス排出抑制に関する取組（グリーン購入、室温設定等）＞

クールビズ・ウォームビズを実施し、空調設備の設定温度（夏期 28 度、冬期 20 度）を調整するとともに、各部屋に設定温度を掲示し、利用者にも協力を依頼しています。

平成30年度 「金沢区福祉保健活動拠点」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	15,475,000		15,475,000		15,475,000	横浜市より
利用料金収入	0	0	0	0	0	
ボランティア等事業収入			0		0	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	0	0	0	0	0	
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	440,000	0	440,000	0	440,000	
印刷代	436,000		436,000		436,000	
自動販売機手数料			0		0	
駐車場利用料収入	0	0	0	0	0	
その他（公衆電話）	4,000		4,000		4,000	
収入合計	15,915,000	0	15,915,000	0	15,915,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,094,000	0	10,094,000	0	10,094,000	
給与・賃金	9,319,000		9,319,000		9,319,000	
社会保険料	772,000		772,000		772,000	
通勤手当			0		0	
健康診断費	3,000		3,000		3,000	
勤労者福祉共済掛金			0		0	
退職給付引当金繰入額			0		0	
事務費	1,398,000	0	1,398,000	0	1,398,000	
旅費	12,000		12,000		12,000	
消耗品費	100,000		100,000		100,000	
会議賄い費			0		0	
印刷製本費	50,000		50,000		50,000	
通信費	373,000		373,000		373,000	電話・インターネット料金、郵送料等
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0		0	
その他			0		0	
備品購入費	100,000		100,000		100,000	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険			0		0	
職員等研修費	3,000		3,000		3,000	
振込手数料			0		0	
リース料	400,000		400,000		400,000	
手数料			0		0	
地域協力費			0		0	
その他（分担金）	360,000		360,000		360,000	勤怠管理システム分担金(拠点)
事業費	120,000	0	120,000	0	120,000	
ボランティア等事業費	120,000		120,000		120,000	保険料、謝金
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	0	0	0	0	0	
自主事業費	0	0	0	0	0	ボランティア保険、諸謝金
管理費	3,653,000	0	3,653,000	0	3,653,000	
光熱水費	900,000	0	900,000	0	900,000	
電気料金	562,000		562,000		562,000	
ガス料金	225,000		225,000		225,000	
水道料金	113,000		113,000		113,000	
清掃費	829,600		829,600		829,600	2,603,000
修繕費	150,000		150,000		150,000	指定額
機械警備費	98,042		98,042		98,042	
設備保全費	1,274,460	0	1,274,460	0	1,274,460	
空調衛生設備保守	159,732		159,732		159,732	
消防設備保守	106,120		106,120		106,120	
電気設備保守	32,160		32,160		32,160	
害虫駆除清掃保守	291,600		291,600		291,600	
駐車場設備保全費	151,200		151,200		151,200	
その他保全費	533,648		533,648		533,648	真空式温水器、他
共益費	397,898		397,898		397,898	
その他（ ）	3,000		3,000		3,000	
公租公課	650,000	0	650,000	0	650,000	
事業所税			0		0	
消費税	650,000		650,000		650,000	
印紙税			0		0	
その他（ ）			0		0	
支出合計	15,915,000	0	15,915,000	0	15,915,000	
差引	0	0	0	0	0	